

# 如水会寄附講義

## 「社会実践論」講義要綱

### (2012年度夏学期)

講義責任者: 筒井 泉雄

2012年4月10日(火)  
オリエンテーション14時40分/15時20分  
東1号館 1202番教室

如水会寄附講義「社会実践論」では、社会の第一線で活躍されている、本学出身の12名の先輩の方々に、オムニバス形式による講義(火曜4限)をお願いしています。

皆さんが、将来への展望を胸に膨らませ、希望を実現するための学問を涵養する指針となるように、また如何に学ぶかを考える指針となるように、「学生時代に何をしてきたか」、「どのように人生を歩んできたか」など、経験に裏打ちされた職業意識、人生哲学、現代産業の現状など、自らの経験を踏まえた講義を、現在第一線で活躍されている先輩の方々にお願いしています。諸先輩講師陣は、自身の歩んでこられた経験と、現在の立場から、社会、日本、世界を鮮やかな切り口で切り取り、現代社会や社会実践のありかたを皆さんの前に、簡潔に広げてくださいます。

皆さんは、講義を聞き、先輩の方々の生き方やグローバルな考え方に触れ、自身と照らし合わせて考え、質疑応答、感想、意見という形で返し、ともに学ぶ場を作り出すことで、キャリア形成の第一歩を踏み出してください。

なお、本講義は、如水会及び一橋大学後援会「キャプテンズ・オブ・インダストリーを考える委員会」からの資金提供によって運営されています。「キャプテンズ・オブ・インダストリーを考える委員会」は、故永井正(22学)氏が寄附された基金をもとに、一橋大学の学問風土の活性化を目指して活動しています。

	日付	テーマ	講師
第1回	4月 17日 (火)	如水会から見た大学と社会	関 統造
第2回	5月 8日 (火)	老舗の特徴と家業の継承	石蔵 利憲
第3回	5月 15日 (火)	コンサルタントの仕事	荻本 洋子
第4回	5月 22日 (火)	人生は長い。大学で一生の糧を身につけたい。	村井 了
第5回	5月 29日 (火)	「首都東京」を仕事にする	櫻井 和博
第6回	6月 5日 (火)	スポーツとビジネスに共通する事とは?	遠藤 紀彦
第7回	6月 12日 (火)	エコノミストは誰のため、何のため?	浜 矩子
第8回	6月 19日 (火)	メディア人であること、母であること	久川 桃子
第9回	6月 26日 (火)	監査法人ではたらく	瀧口 詠子
第10回	7月 3日 (火)	医療とイノベーション	畑中 好彦
第11回	7月 10日 (火)	既存の弁護士業にとらわれない弁護士のあり方	吉澤 尚
第12回	7月 17日 (火)	大企業で働くこと、ベンチャー企業を創業すること	渡辺 敏成

## 第1回 4月17日(火)



テーマ : 如水会から見た大学と社会  
講師 : 関 統造 社会学部・昭和41年(1966年)卒  
社団法人 如水会 理事・事務局長  
森林インストラクター(東京会、群馬会所属)

三菱商事で35年間エネルギー関連業務を担当し、ニューヨークに2回駐在、中近東、中南米、アフリカ、ヨーロッパ、東南アジア各地を回り、国際取引を通じて大変貴重な経験を積ませていただきました。その経験をもとに、青山学院大学経済学部で非常勤講師として10年間「エネルギー学」を語る機会も頂きました。教えることは学ぶこと、今でも細々とエネルギーを勉強しております。母校でも如水会寄附講義「エネルギーゼミ」も担当させてもらっています。また平成12年に「森林インストラクター」の資格を取り、多くの方を野山にご案内するなど、チグハグな人生を送ってきました。その後、縁あって如水会事務局長を拝命し現在に至っております。この講義ではチグハグな人生から得たものや、母校の素晴らしさを紹介しながら、如水会から見た大学や社会を皆さんと一緒に考えてみたいと思います。

## 第2回 5月8日(火)



テーマ : 老舗の特徴と家業の継承  
講師 : 石蔵 利憲 法学部・平成7年(1995年)卒  
石蔵酒造株式会社 取締役

大学卒業後、日本興業銀行(現 みずほコーポレート銀行)に入行。10年の銀行員生活の中で、事業法人営業・金融法人営業・営業本部を経験した後、家業である博多の造り酒屋に戻りました。

江戸時代より続く老舗とはいえ、零細な企業。大企業で働くときは、一味違った苦労や喜びの中で日々奮闘しています。皆さんの中にも、将来、家業を継がれる方がいらっしゃるでしょうし、起業をしてスタートアップ企業の経営者となられる方もいらっしゃるでしょう。

100年、200年と潰れずに存続している老舗の特徴を交えて、家業を継承していくということ、大企業を出て中小企業を営むこと等、私なりの経験や考えをお伝えできればと思っています。

## 第3回 5月15日(火)



テーマ : コンサルタントの仕事  
講師 : 荻本 洋子 経済学部・昭和63年(1988年)卒  
野村総合研究所 上級コンサルタント

コンサルタントという職業は、とても幅が広く、簡単には表現しにくいものです。顧客の幅も広く、国内外の企業のみならず、政府(省庁)や地方自治体、国際機関等との契約もあります。テーマも、国内事業の再編、海外進出の支援、制度設計の支援からインフラ開発の支援まで様々です。どんな仕事があり、コンサルタントの人々は、どういう生活を日々送っており、どんな点が魅力なのか、等、個人の視点でお話したいと思います。

## 第4回 5月22日(火)



テーマ : 人生は長い。大学で一生の糧を身につけたい。  
講師 : 村井 了 旧制学部・昭和28年(1953年)卒  
元電源開発株式会社 代表取締役常務 関係会社会長  
日本ユネスコ協会連盟 顧問  
藍綬褒章受賞

殆どの方が本学卒業後所謂社会に出て行く。学者を志している人は少ない。卒業してから大学を訪れることも殆どなく学友との交際以外に学生生活を想い出す機会も薄れて行く。遠い先のこととしか思えないかもしれないが、出て行く社会には殆どの人にとって定年というものがあり、努力して生きて来た生活が激変する。家族生活も成熟して来るが、現実の生き様は難しくなって来ている。それから楽しく毅然として生きて行くために、学問の臭いを忘れずに身につけておくことが大事だ。そのために今学生生活をどう送って行くか、それが課題だ。多くの途があると思う。語り合ってみよう。

## 第5回 5月29日(火)



テーマ : 「首都東京」を仕事にする

講師 : 櫻井 和博 社会学部・昭和59年(1984年)卒  
東京都生活文化局 広報広聴部長

東京が好きだったんでしょうね。学生の頃から、暇さえあれば都内を歩き回っておりました。都心はもとより、当時は荒野であった現在の臨海副都心なども、随分と探検したものです。ゼミは社会地理学で、卒論は「東京のイメージ」。したがって、東京都庁に就職したのも自然な成り行き？——いいえ、就活では結構苦労しました。

東京に関わる仕事は、国でも企業でもできるでしょう。けれども、東京という都市の責任を担う、それが東京都庁ならではの特微です。また、多様な職員を受け入れる懐の深さ、学歴・性別を超えた平等の徹底など、都庁の風土はちょっと素敵でユニークです。自らの経験を踏まえつつ、「首都東京」を仕事にする世界の一端をお話します。

## 第6回 6月5日(火)



テーマ : スポーツとビジネスに共通する事とは？

講師 : 遠藤 紀彦 法学部・平成5年(1993年)卒  
株式会社リクルート 進学カンパニー 企画室 企画グループ

高校留学時に初めて大学のアメリカンフットボール部に憧れて入部。以来37歳での現役引退まで18年間一つの競技に打ち込む。社会人チーム"リクルートシーガルズ(現オービックシーガルズ)"に所属し、チームのキャプテンとして社会人日本一を3度経験し、学生日本一と対戦するライスボウルで2度優勝。また、第一回・第二回アメリカンフットボールWカップに選手・副将として出場し、二大会とも優勝。という成績を残してきました。

リクルートでの仕事は、海外旅行情報誌の広告獲得営業で旅行会社を担当し、今は高校生に進学情報を届ける事業を行う進学カンパニーの人事・教育を担当しております。また、プライベートでは夫婦共働きを続けており、子供の朝の食事を担当し、週に1度程度はお迎えも行なっています。講義を担当するにあたり、自分自身の異色のキャリアを振り返ったところ、改めて自分の大切にしている“スタンス”に気づきました。ビジネスパーソン、アスリート、そして父親。それを一本の糸でつなぐ“スタンス”。講義では、私の大切にしている“スタンス(物や事への関わり方)”について具体的なエピソードを基に皆さんと一緒に振り返ってみたいと思います。聴講していただける学生の皆さんの“私のスタンス”について考える機会となれば幸いです。

## 第7回 6月12日(火)



テーマ : エコノミストは誰のため、何のため？

講師 : 浜 矩子 経済学部・昭和50年(1975年)卒  
同志社大学経済学部教授  
同志社大学大学院ビジネス研究科長・教授

エコノミストって何者だ？そんな疑問を抱かれている皆さんが少なくないかもしれません。そもそも、経済学って何の役に立つんだろう。難しいばかりで存在意義が良く解らん。そんな風に考えられてませんか？もし、そうでしたら、是非、私の話を聞いて下さい！極上の謎解きの世界に皆さんをご案内しますよ。ミステリー好きなら、経済の世界に足を踏み入れなくっちゃ！

もともと、経済の世界は怖くもあります。経済の力学をあなどってはいけません。経済は、暴走したり牙を剥いたりすることがあります。その時、慌てず騒がず、敢然と世のため人のために動けるためにも、化け物の正体をしっかり見極める眼力を磨きましょう。そんなところも含めて、エコノミストの泣き笑い物語を聞いて下さい。

## 第8回 6月19日(火)



テーマ : メディア人であること、母であること

講師 : 久川 桃子 商学部・平成12年(2000年)卒  
日経BP社 ecomom(エコ맘)プロデューサー

就職氷河期に負けなしで外資系銀行に就職した「就活エリート」から一転、わずか1年でクビの宣告。次の就職先として選んだのはジャーナリズム、メディアの世界。日経ビジネス記者としての仕事が波に乗ってきた2年目、27歳で出産。ジャーナリズムに未練を残しつつ異動した今のポジションで、雑誌メディア全般に関わり、自分のプロデューサー的な側面を認識し、エキサイティングな日々を送る。

「1番なりたいものは為替ディーラー、2番目になりたいものは経済ジャーナリスト」。そんな学生時代の夢を、社会人2年目にして両方かなえてしまった私は「超」ラッキーだろう。転職と2度の出産で、20代は半分ほどしか働いていなかった私が、どのようにして生き残ってきたか。第2新卒という選択、雑誌メディアの存在意義、ワークライフバランスといった視点からお話したい。

## 第9回 6月26日(火)



テーマ : 監査法人ではたらく  
講師 : 瀧口 詠子 商学部・平成元年(1989年)卒  
あらた監査法人 リスク・コントロール・ソリューション部  
シニアマネージャ

会計士としては遅いスタートであった上に大変な就職難とぶつかり、思いもかけない方向にキャリアが転換してしまう。監査法人で働くということは繁忙期の時間的拘束が長いことや出張が多いこと等は確かに困難な点であろうが、プロフェッショナルファームでしか経験することのできない特徴がある。

法人内外での環境が大きく変化中、クライアントサービスにおいても組織運営においても自己の変革を積み重ねながら乗り越えてゆく必要のある課題に日々向き合っている。

職場では多忙を極め子育てや家事をこなしつつも、自分を大切に家族との時間を大切に、充実感の得られる時間を過ごしたい。日々の仕事と生活の中からお話しします。

## 第10回 7月3日(火)



テーマ : 医療とイノベーション  
講師 : 畑中 好彦 経済学部・昭和55年(1980年)卒  
アステラス製薬株式会社 代表取締役社長

製薬業界一理系色の強い業界イメージから、皆さんの中には「遠い存在」と感じている方もいらっしゃるかもしれません。本講義を通して、製薬産業をもっと身近に感じて頂きたいと考えます。

アステラス製薬は、「先端・信頼の医薬で、世界の人々の健康に貢献する」ことを経営理念とし、グローバルに事業活動を続けています。新薬で病気と闘う患者さんに勇気・希望を届けたい…。この決意を胸に挑戦し続ける私どもの取り組みを交えながら、「医療とイノベーション」をテーマに医療制度、その中の製薬産業の現状と今後についてお話しさせていただきます。本講義をきっかけとして、無限の可能性に満ちたこのフィールドに、少しでも興味・魅力を感じて頂ければと考えます。

## 第11回 7月10日(火)



テーマ : 既存の弁護士業にとらわれない弁護士のあり方  
講師 : 吉澤 尚 法学部・平成11年(1999年)卒  
西村あさひ法律事務所  
漆間・吉澤総合法律事務所設立  
弁護士法人漆間総合法律事務所(法人化準備中) 副代表  
経済産業省電子商取引及び情報財取引等に関する準則策定委員  
経済産業省情報大航海プロジェクト制度対応WG等歴任

弁護士という職業は何か。弁護士という職業で生きるのか、弁護士という職業を使って自分が目指すことをやるのか。考え方1つで、同じ職業でも仕事への取り組みは変わります。人生は一度しかありません。大手法律事務所から独立して企業法務を扱う弁護士として社会のインフラになるべく戦い続けることの意味について、組織のブランドに迎合し、それに頼るのではなく、自分の価値・個性を信じる生き方を選んだ弁護士の生き方が学生の皆さんが将来を考える参考になれば幸いです。

## 第12回 7月17日(火)



テーマ : 大企業で働くこと、ベンチャー企業を創業すること  
講師 : 渡辺 敏成 商学部・昭和61年(1986年)卒  
株式会社リンクアンドコミュニケーション 代表取締役社長

大学卒業後、大企業(味の素)でビジネスマン人生をスタート。マーケティングの仕事で35歳まで行った後、ヘルスケア分野のベンチャー企業に転職、コンサルティングファームや外資企業の出身者と一緒に、ボードメンバー(常務取締役)として、株式公開(IPO)を目指しました。(現在、マザーズ市場に公開中)そして今、自ら創業したヘルスケアベンチャーで、日本から世界に発信できる医療・健康サービス事業の立ち上げを行っています。

今回の講義では、大企業で働くこと、ベンチャー企業で働くこと、それぞれの違いや面白さ、また会社を立ち上げるときのプロセスや考え方など、皆さんの将来設計に少しでも役立つお話を、体験談を交えながらお話ししていきたいと思っております。